

「豪雨災害に関する意識」についてのアンケート集計結果

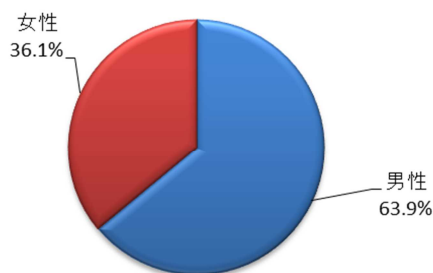
- ★調査時期：平成27年11月
- ★対象者：県政モニター 397人
- ★回答数：319人（回収率80.4%）
- ★担当課：土木交通部 流域政策局 流域治水政策室
- ★調査目的：県では、どのような洪水にあっても、“人命が失われること”や“生活再建が困難となる被害”を避けることを目的に、これまでの「川の中の対策」に加えて、「川の外の対策」を県民の皆さんと協働で実施していく「流域治水政策」を推進しているところです。
県民のみなさんの豪雨災害に関する意識等について把握し、今後の施策検討の参考とする目的でアンケート調査を実施しました。

（※四捨五入により割合の合計が100%にならない場合があります。）

◆あなたの性別を教えてください。

（参考）

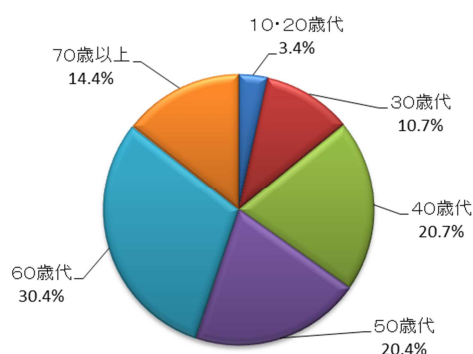
項目	今回(H27.11)		前回(H27.1)	
	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)
男性	204	63.9	195	65.0
女性	115	36.1	105	35.0
合計	319	100.0	300	100.0



◆あなたの年齢を教えてください。

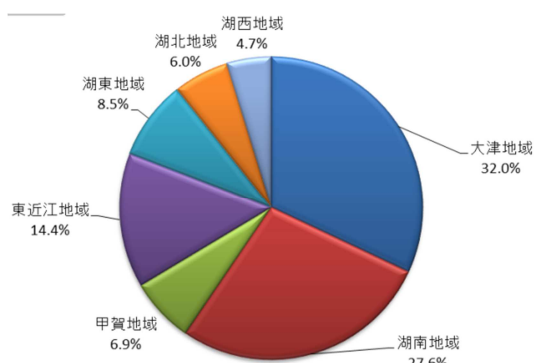
（参考）

項目	今回(H27.11)		前回(H27.1)	
	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)
～20歳代	11	3.4	8	2.7
30歳代	34	10.7	37	12.3
40歳代	66	20.7	67	22.3
50歳代	65	20.4	55	18.3
60歳代	97	30.4	90	30.0
70歳以上	46	14.4	43	14.3
合計	319	100.0	300	100.0



◆あなたのお住まいの地域を教えてください。
(参考)

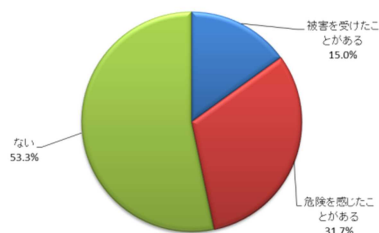
項 目	今回 (H27. 11)		前回 (H27. 1)	
	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)
大津地域	102	32.0	100	33.3
湖南地域	88	27.6	80	26.7
甲賀地域	22	6.9	21	7.0
東近江地域	46	14.4	46	15.3
湖東地域	27	8.5	29	9.7
湖北地域	19	6.0	15	5.0
湖西地域	15	4.7	9	3.0
合 計	319	100.0	300	100.0



問1 近年、全国各地で水害や土砂災害が発生していますが、あなたは、過去に豪雨(台風を含む)によって被害を受けたり、危険を感じたりしたことはありますか。(回答チェックは1つだけ。n=319)

(参考)

項 目	今回 (H27. 11)		前回 (H27. 1)	
	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)
被害を受けたことがある	48	15.0	53	17.7
危険を感じたことがある	101	31.7	101	33.7
ない	170	53.3	146	48.7
合 計	319	100.0	300	100.0

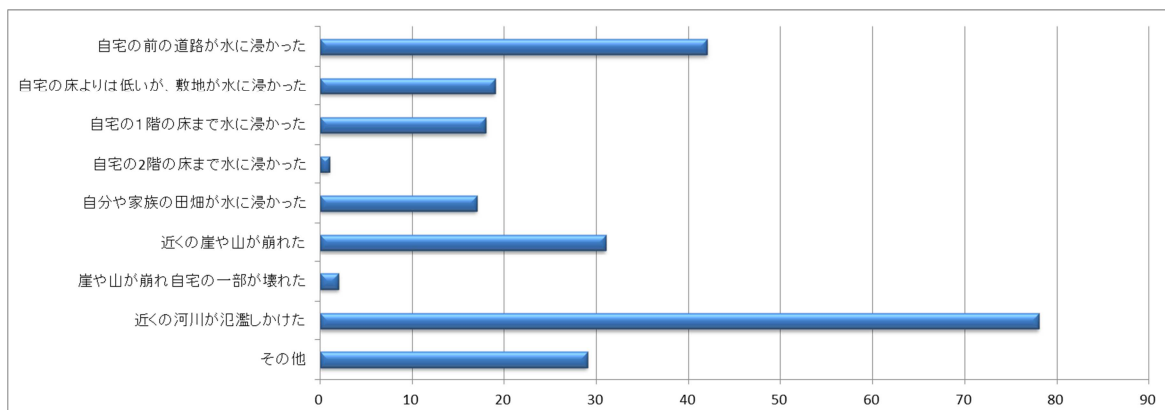


問2 問1で「1. 被害を受けたことがある」または「2. 危険を感じたことがある」を選択された方にお尋ねします。

その時の状況はどのようなものでしたか。(回答チェックはいくつでも可 n=149)

(参考)

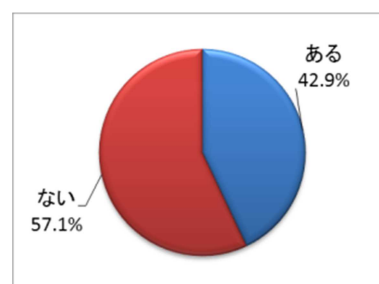
項 目	今回 (H27. 11)		前回 (H27. 1)	
	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)
1. 自宅の前の道路が水に浸かった	42	28.2	45	29.2
2. 自宅の床よりは低い敷地が水に浸かった	19	12.8	24	15.6
3. 自宅の1階の床まで水に浸かった	18	12.1	13	8.4
4. 自宅2階の床まで水に浸かった	1	0.7	2	1.3
5. 自分や家族の田畑が水に浸かった	17	11.4	14	9.1
6. 近くの崖や山が崩れた	31	20.8	30	19.5
7. 崖や山が崩れ自宅の一部が壊れた	2	1.3	1	0.6
8. 近くの河川が氾濫しかけた	78	52.3	76	49.4
9. その他	29	19.5	30	19.5



問3 あなたは、今住んでいる地域で起きた過去の自然災害(被害)の話を、人から聞かれたことがありますか。(回答チェックは1つだけ n=319)

(参考)

項 目	今回 (H27. 11)		前回 (H27. 1)	
	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)
あ る	137	42.9	135	45.0
な い	182	57.1	165	55.0
合 計	319	100.0	300	100.0

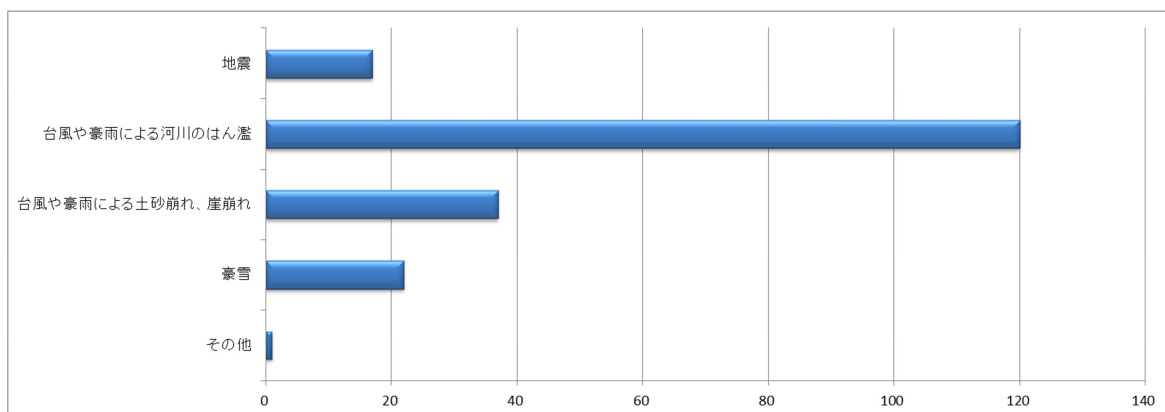


問4 問3で「ある」と選択された方にお聞きします。

それはどのような自然災害でしたか。(回答チェックはいくつでも可。n=137)

(参考)

項 目	今回 (H27. 11)		前回 (H27. 1)	
	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)
1. 地震	17	12.4	21	15.6
2. 台風や豪雨による河川のはん濫	120	87.6	127	94.1
3. 台風や豪雨による土砂崩れ、崖崩れ	37	27.0	32	23.7
4. 豪雪	22	16.1	15	11.1
5. その他	1	0.7	4	3.0

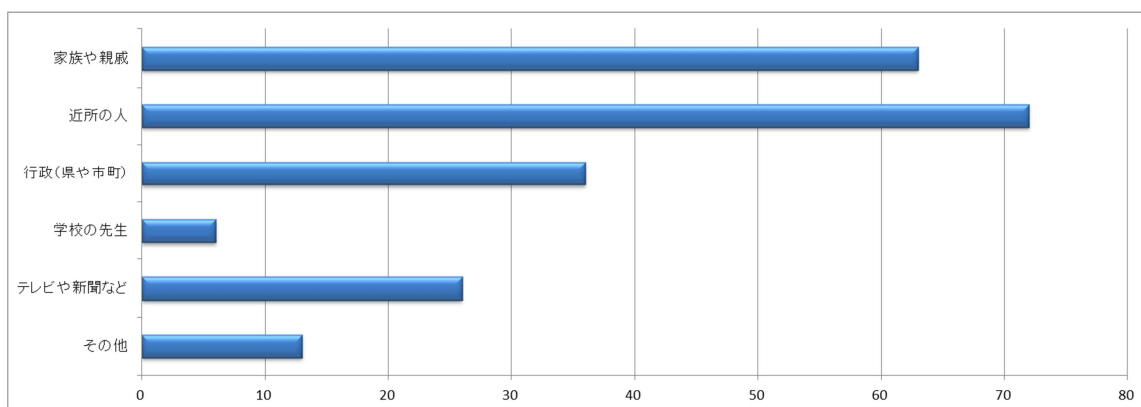


問5 問3で「ある」と選択された方にお聞きします。

その話は誰から聞きましたか。(回答チェックはいくつでも可。n=137)

(参考)

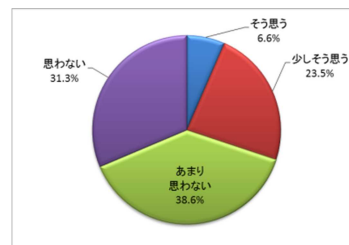
項 目	今回 (H27. 11)		前回 (H27. 1)	
	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)
1. 家族や親戚	63	46.0	89	65.9
2. 近所の人	72	52.6	72	53.3
3. 行政(県や市町)	36	26.3	36	26.7
4. 学校の先生	6	4.4	8	5.9
5. テレビや新聞など	26	19.0	32	23.7
6. その他	13	9.5	13	9.6



問6 あなたは、今住んでいる家が、今後10年以内に洪水による被害を受けると思われますか。(回答チェックは1つだけ n=319)

(参考)

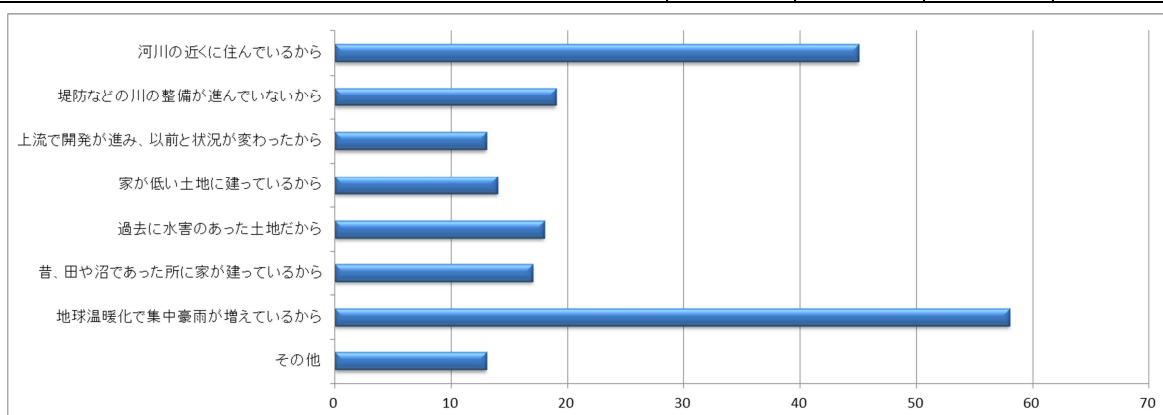
項目	今回(H27.11)		前回(H27.1)	
	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)
1. そう思う	21	6.6	20	6.7
2. 少しそう思う	75	23.5	69	23.0
3. あまり思わない	123	38.6	107	35.7
4. 思わない	100	31.3	104	34.7
合計	319	100.0	300	100.0



問7 問6で「そう思う」または「少しそう思う」を選択された方にお聞きします。そのように思う理由は何ですか。(回答チェックはいくつでも可。n=96)

(参考)

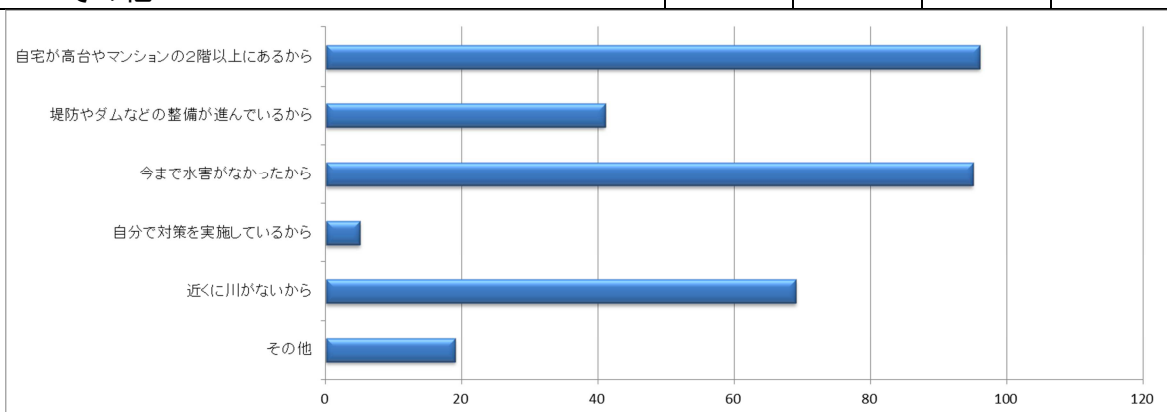
項目	今回(H27.11)		前回(H27.1)	
	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)
1. 河川の近くに住んでいるから	45	46.9	46	51.7
2. 堤防などの川の整備が進んでいないから	19	19.8	24	27.0
3. 上流で開発が進み、以前と状況が変わったから	13	13.5	5	5.6
4. 家が低い土地に建っているから	14	14.6	15	16.9
5. 過去に水害があった土地だから	18	18.8	20	22.5
6. 昔、田や沼であった所に家が建っているから	17	17.7	15	16.9
7. 地球温暖化で集中豪雨が増えているから	58	60.4	54	60.7
8. その他	13	13.5	6	6.7



問8 問6で「あまり思わない」または「思わない」を選択された方にお聞きします。
 そのように思う理由は何ですか。(回答チェックはいくつでも可。n=223)

(参考)

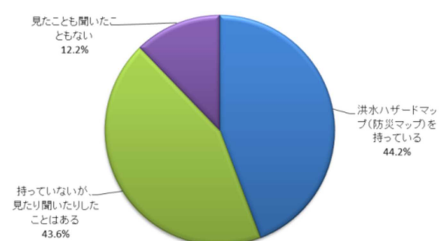
項 目	今回 (H27. 11)		前回 (H27. 1)	
	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)
1. 自宅が高台やマンションの2階以上にあるから	96	43.0	94	44.5
2. 堤防やダムなどの整備が進んでいるから	41	18.4	52	24.6
3. 今まで水害がなかったから	95	42.6	93	44.1
4. 自分で対策を実施しているから	5	2.2	6	2.8
5. 近くに川がないから	69	30.9	63	29.9
6. その他	19	8.5	7	3.3



問9 浸水が予想される区域を示すものとして、市町が配布する「洪水ハザードマップ(防災マップ)」がありますが、あなたはこれを見たり、聞いたりしたことはありますか。(回答チェックは1つだけ n=319)

(参考)

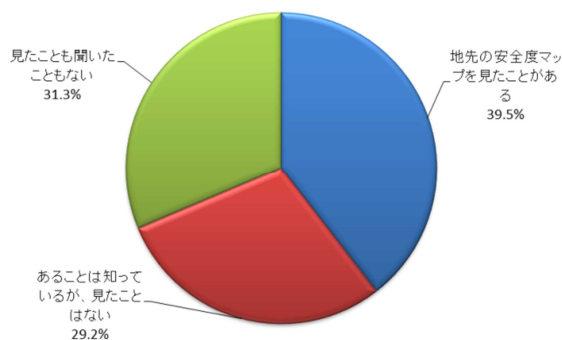
項 目	今回 (H27. 11)		前回 (H27. 1)	
	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)
1. 洪水ハザードマップ(防災マップ)を持っている	141	44.2	120	40.0
2. 持っていないが、見たり聞いたりしたことはある	139	43.6	138	46.0
3. 見たことも聞いたこともない	39	12.2	42	14.0
合 計	319	100.0	300	100.0



問 10 滋賀県では、浸水が予想される区域を示すものとして、大きな河川だけではなく身近な水路や小河川の氾濫も含め、詳細な水害リスクを予測した「地先の安全度マップ」を作成し、県ホームページで公開していますが、あなたはこれを見たり、聞いたりしたことはありますか。(回答チェックは1つだけ n=319)

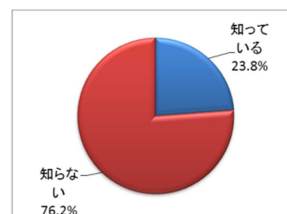
(参考)

項 目	今回 (H27. 11)		前回 (H27. 1)	
	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)
1. 地先の安全度マップを見たことがある	126	39.5	95	31.7
2. あることは知っているが、見たことはない	93	29.2	107	35.7
3. 見たことも聞いたこともない	100	31.3	98	32.7
合 計	319	100.0	300	100.0



問 11 滋賀県では、家や土地の売買・賃貸借の際に、水害リスク情報（地先の安全度マップや洪水ハザードマップ）を取引相手に示すよう努力義務規定を設けていますが、あなたはこのことについて知っていますか。（回答チェックは1つだけ n=319）
（参考）

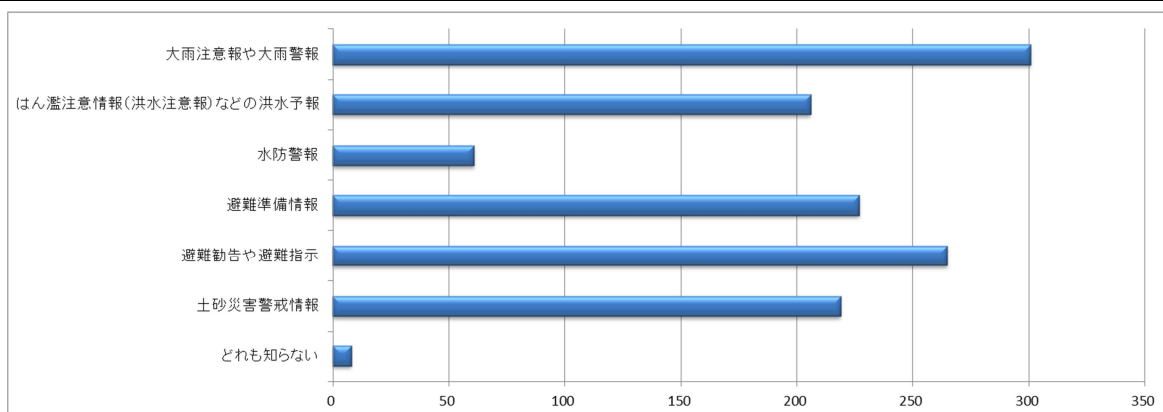
項 目	今回 (H27.11)		前回 (H27.1)	
	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)
1. 知っている	76	23.8	75	25.0
2. 知らない	243	76.2	225	75.0
合 計	319	100.0	300	100.0



問 12 水害や土砂災害が発生する危険性が高くなった時に出る次の情報のうち、知っているものはどれですか。（回答チェックはいくつでも可。n=319）

（参考）

項 目	今回 (H27.11)		前回 (H27.1)	
	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)
1. 大雨注意報や大雨警報	301	94.4	289	96.3
2. はん濫注意情報（洪水注意報）などの洪水予報	206	64.6	187	62.3
3. 水防警報	61	19.1	73	24.3
4. 避難準備情報	227	71.2	201	67.0
5. 避難勧告や避難指示	265	83.1	246	82.0
6. 土砂災害警戒情報	219	68.7	202	67.3
7. どれも知らない	8	2.5	4	1.3

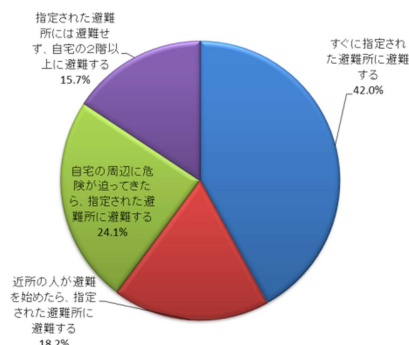


問 13 水害や土砂災害の危険が高くなり、市町から避難勧告が出された場合、あなたはどのような行動をとると思われますか。次の中からあなたの考えに最も近いものを選択してください。(回答チェックは1つだけ n=319)

(参考)

項 目	今回 (H27.11)		前回 (H27.1)	
	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)
1. すぐに指定された避難所に避難する	134	42.0	101	33.7
2. 近所の人が始めたなら、指定された避難所に避難する	58	18.2	62	20.7
3. 自宅の周辺に危険が迫ってきたら、指定された避難所に避難する	77	24.1	85	28.3
4. 指定された避難所には避難せず、自宅の2階以上に避難する	50	15.7	52	17.3
合 計	319	100.0	300	100.0

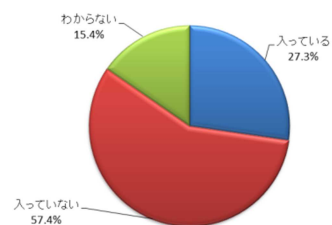
※ 自宅の周辺に危険が迫ってきた時には、避難場所へ避難することがかえって危険な場合もあります。2階まで浸水するリスクがある場所も存在し、そこでは2階への避難が危険な場合もあります。事前に地先の安全度（浸水深など）などを調べ、災害時は情報をしっかりと集め判断して下さい。



問 14 あなたは、火災保険に加えて、水害や土砂災害に備えた保険（住宅総合保険等）に入っていますか。(回答チェックは1つだけ n=319)

(参考)

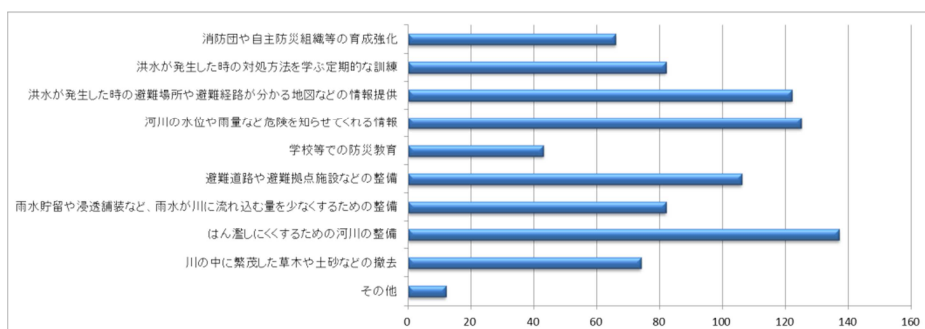
項 目	今回 (H27.11)		前回 (H27.1)	
	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)
1. 入っている	87	27.3	96	32.0
2. 入っていない	183	57.4	164	54.7
3. わからない	49	15.4	40	13.3
合 計	319	100.0	300	100.0



問 15 洪水から命や財産を守るため、あなたは県や市町の行政に対して、どのような取り組みを望まれますか。下の中から、重視して進めるべきと思われるものを選んでください。(回答チェックは3つまで可。n=319)

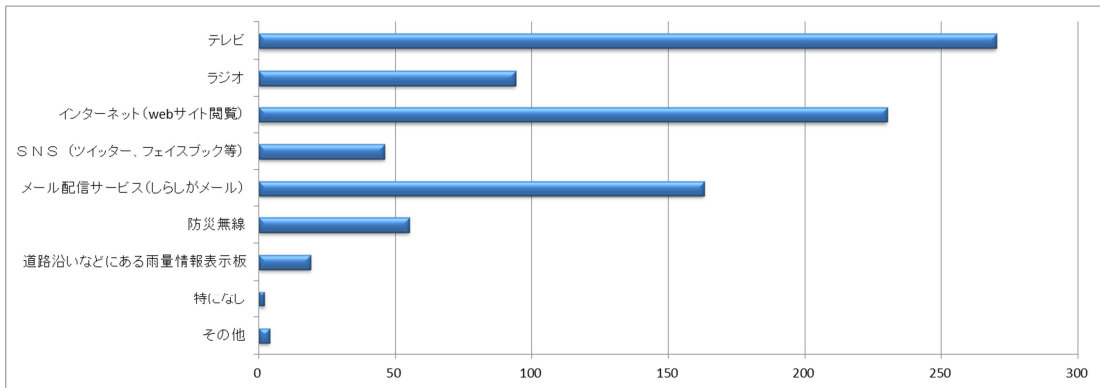
(参考)

項 目	今回 (H27. 11)		前回 (H27. 1)	
	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)
1. 消防団や自主防災組織等の育成強化	66	20.7	72	24.0
2. 洪水が発生した時の対処方法を学ぶ定期的な訓練	82	25.7	84	28.0
3. 洪水が発生した時の避難場所や避難経路が分かる地図などの情報提供	122	38.2	108	36.0
4. 河川の水位や雨量など危険を知らせてくれる情報	125	39.2	133	44.3
5. 学校等での防災教育	43	13.5	53	17.7
6. 避難道路や避難拠点施設などの整備	106	33.2	88	29.3
7. 雨水貯留や浸透舗装など、雨水が川に流れ込む量を少なくするための整備	82	25.7	65	21.7
8. はん濫しにくくするための河川の整備	137	42.9	116	38.7
9. 川の中に繁茂した草木や土砂などの撤去	74	23.2	61	20.3
10. その他	12	3.8	11	3.7



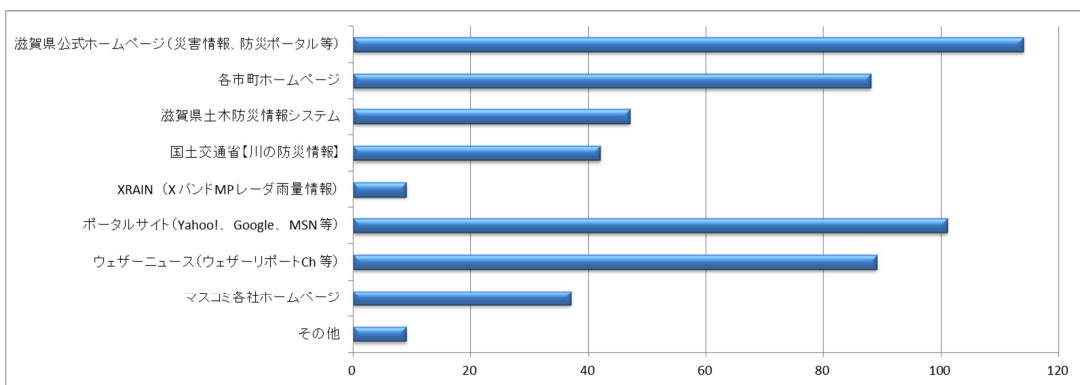
問 16 豪雨災害時の情報取得手段としてよく活用しているものを教えてください。(回答チェックはいくつでも可。n=319)

項 目	今回 (H27. 11)		前回 (H27. 1)	
	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)
1. テレビ	270	84.6	263	87.7
2. ラジオ	94	29.5	102	34.0
3. インターネット (ウェブサイト閲覧)	230	72.1	186	62.0
4. SNS (ツイッター、フェイスブック等)	46	14.4	34	11.3
5. メール配信サービス (しらがメール)	163	51.1	142	47.3
6. 防災無線	55	17.2	48	16.0
7. 道路沿いなどにある雨量情報表示盤	19	6.0	18	6.0
8. 特になし	2	0.6	1	0.3
9. その他	4	1.3	5	1.7



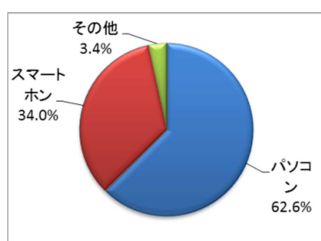
問 17 問 16で「3. インターネット(ウェブサイト閲覧)」と回答された方にお尋ねします。よく利用するサイトを教えてください。(回答チェックはいくつでも可 n=230)

項目	今回(H27.11)		前回(H27.1)	
	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)
1. 滋賀県公式ホームページ(災害情報、防災ポータル等)	114	49.6	107	57.5
2. 各市町ホームページ	88	38.3	77	41.4
3. 滋賀県土木防災情報システム	47	20.4	45	24.2
4. 国土交通省【川の防災情報】	42	18.3	37	19.9
5. XRAIN(XバンドMPレーダ雨量情報)	9	3.9	8	4.3
6. ポータルサイト(Yahoo!、Google、MSN等)	101	43.9	88	47.3
7. ウェザーニュース(ウェザーリポートCh等)	89	38.7	100	53.8
8. マスコミ各社ホームページ	37	16.1	31	16.7
9. その他	9	3.9	2	1.1



問 18 問 16 で「3. インターネット（ウェブサイト閲覧）」または「4. SNS（ツイッター、フェイスブック等）」と回答された方にお尋ねします。
主に使用される機器は何ですか。（回答チェックは1つだけ n=235）

項 目	今回 (H27.11)		前回 (H27.1)	
	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)
1. パソコン	147	62.6	137	65.9
2. スマートフォン	80	34.0	64	30.8
3. その他	8	3.4	7	3.4
合 計	235	100.0	208	100.0



問 19 水害や土砂災害の被害を少なくするため、個人や地域ではどのようなことに留意する必要があると思いますか。ご意見がありましたらお聞かせください。

(主だった意見)

【個人で留意すること】

- ・ 防災用の備蓄が水没しないように、発電機や食料、毛布等は2階以上に置く。
- ・ 情報の収集、避難場所の確認等。
- ・ 災害時になんの根拠もなく SNS の情報を鵜呑みにせず、非常時こそきちんとしたニュースソースを活用すべきかと思う。
- ・ 被害への対応は誰か（消防署など）がやってくれるなどと思わず、「自分の身は自分が守る」という基本的な考えを訓練や地域活動などを通じて県民1人1人が理解する必要があると思う。
- ・ 個人では豪雨の時に 川の近くに行かない、ということくらいしか思い浮かばない。
- ・ 家屋等が被害にあうのは一定仕方がない部分があると思うので、保険や、災害時に持ち運ぶ貴重品や必需品の場所をまとめておき、すぐに避難できるようにしておくこと。
- ・ 現在指定されている避難所の妥当性の再検討。道路事情、遠近、安全性などを考えると、決して学校等の公共設備が良いとは言えない場合がある。
- ・ 普段からこまめに自宅の周辺を見て地形を知悉すること。
- ・ 災害時、自分と家族の命を守る事を最優先に行動する。
- ・ 個人としては、情報の早期取得による避難が最優先。
- ・ 避難場所へのルートを認識しておく。
- ・ 自分が住んでいる土地の性質（地盤がゆるいか頑丈か、大雨のときに水かさが増しやすい場所があるか等）を知っておく必要がある

- ・ 家族との緊急連絡方法の確認。

【地域で留意すること】

- ・ 防災訓練だけでなく、住民にハザードマップの見方の説明会、地域の防災マップの作成等、日頃からの防災意識、減災意識の向上を図る機会が必要と感ずます。
- ・ 避難場所、避難経路の明確化をする必要がある。
- ・ 地域のコミュニティを深めていく。
- ・ 地域での日頃からの災害時が発生した時の行動の明確化（誰が何をして、どこにどのタイミングで避難するかなど）を行い、それに基づいた定期的な訓練をしっかりと行うことで地域住民にしっかりと意識をもってもらうことが重要だと思います。
- ・ 地区での定期的な防災訓練。
- ・ 最近では町内会に入らない人も増えてきているので、もしもの時に対応出来るように地域で準備しておくべき。
- ・ 水害・土砂災害の被害のみならず、ご近所で独り生活または介護生活・子供達だけの生活時間が長い家庭などを大人のみの情報網で知り、小さな力を合わせて人を救う体制ができていると誰もが安心して暮らせると思う。
- ・ 近所付き合いを普段からしておき助け合える関係を築いておくこと。マンション世帯は子育て層が多く助けを必要とするが、近所との付き合いが希薄に感じる。

【その他】

- ・ 避難所があるが、住民全員は収容できない。整備してほしい。
- ・ 災害の多いところには、あらかじめ住まないという事が大切。
- ・ 地域の保全に日ごろから皆が注意を払うことがまず一番。
- ・ 運動会の賞やイベントの特賞に避難バッグや避難グッズを入れるとか、おのずと避難する意識を高めるようにするのがいいと思います。
- ・ お年寄りのための避難講座を開いて欲しい。防災講座ではなく避難講座であるところが重要。
- ・ 危険地域や警戒区域に住んでいる方は防災情報を常に入手できるようにしておく必要がある。
- ・ 行政は、住民の意見をよく聞くこと。
- ・ 災害から命を守るための防災訓練の必要性について行政機関からさらに強いメッセージを発信してください。